

CITP による社会価値創造への挑戦

情報処理学会 CITP コミュニティ
日本アイ・ビー・エム株式会社 赤坂 亮

概要

欧米と比較して日本は、生産性向上と国際競争力の強化が課題となっている。課題解決のために、IT を単なるコストではなく、価値創造の源泉とするトレンドが強まっている。高度な専門知識と豊富な業務実績を有する情報技術者（CITP）はプロフェッショナルコミュニティ活動を通じて、社会価値創造への取組みを開始しており、その概要を紹介する。

キーワード

CITP、社会価値創造、価値共創、プロフェッショナルコミュニティ、プロボノ、デザイン思考、東日本大震災、復興支援

1. はじめに

我が国の国際競争力は、10 年以上に渡り、20 位前後と低迷している。日本経済を活性化させ、我が国の国際競争力を強化するためには、社会価値の総量を高める必要があると考える。近年、AI や IoT に代表されるように情報システムを価値創造の源泉とするトレンドが強化されている。今後、高度な専門知識と豊富な業務実績を有する情報技術者（CITP）がプロフェッショナルとして、社会価値の創造に直接的に貢献することが期待されている。

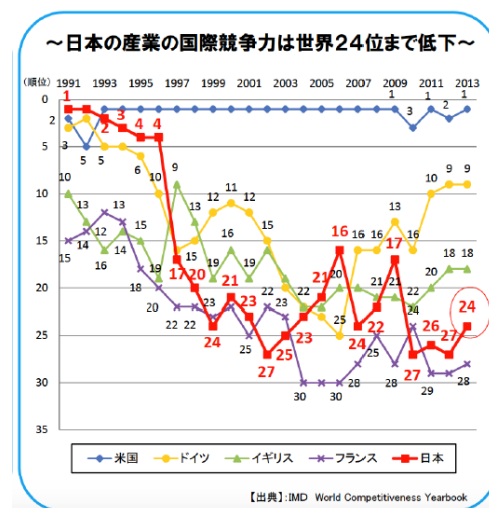


図1 日本の国際競争力

出典：総務省 ICT 国際競争力強化・国際展開に関する懇談会（第1回会合）

2. CITP による社会価値創造

CITP コミュニティは、CITP に認定された技術者同士の交流を通じた自律的な質の向上を図る場として設立されている。社会提言、外部の審議会・委員会等への参画、情報分野における教育・人材育成活動などを含め様々なプロフェッショナル貢献活動を推進し、ピアレビューによる高レベル情報技術者の評価等により企業の枠を超えた社会貢献と技術者自身のレベルアップに資することを目的としている。

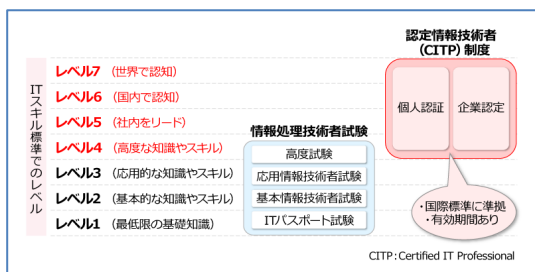


図2 CITPの位置づけ

出典：日経コンピュータ（2014/08/19）

社会価値創造に向けた取り組みを加速するため、CITP コミュニティ内に分科会を設け企業数 10 社・参加者 15 名にて 2016 年 4 月より活動を開始している。

実践可能なプラクティスを調査・研究し、成果を共有、実践。企業の競争力に加えて日本の国際競争力の向上に貢献することを目的としている。個人認証、企業認定、ユーザ、ベンダ企業を問わず、CITP から広く参加者を募っている。

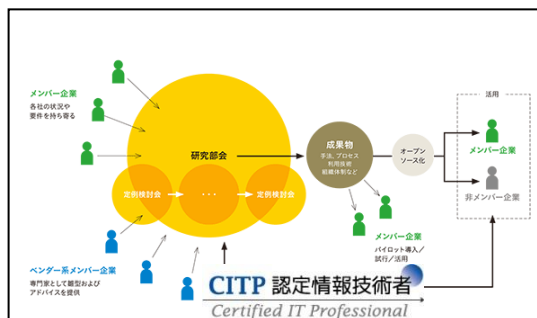


図3 社会価値創造に向けた活動イメージ

出典：ITR, ITEG を参考

3. 社会価値創造分科会取り組み概要

本項において、社会価値創造分科会の取り組みの概要を紹介する

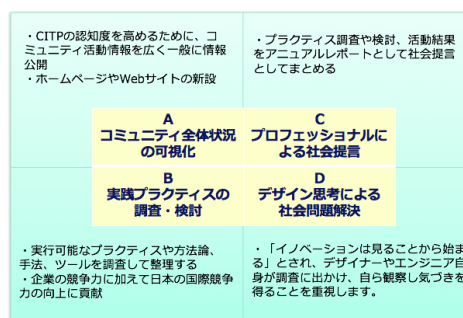


図4 社会価値創造分科会の取り組み

・CITP の認知度を高め、広くコミュニティの活動状況を公開するために Web サイトを作成。



図5 CITP ホームページ

<https://citpblog.wordpress.com/>

・実行可能なプラクティスや方法論、手法やツールを調査しプロフェッショナルとして社会価値に貢献するための提言を整理。

・提言内容は、IT 人材育成、教育支援、震災復興支援、攻めの IT 投資など各プロフェッショナルの強みを活かした内容で、アニュアルレポートとして公開を予定

・提言に留まらず、CITP 自らが実践的に問題解決に取り組むために新規プロジェクトの立ち上げも企画している。イノベーションは見ることから始まるとされ、CITP 自身が調査に出かけ、自ら観察し気づきを得ることを重視する。

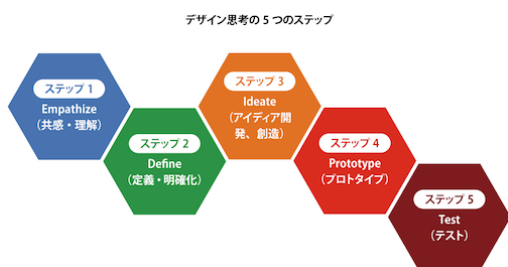


図6 デザイン思考の 5 つのステップ

デザイン思考の考えを参考に、CITP が社会問題の解決をリードする試みである。

具体的なテーマとして、震災復興支援を予定している。東日本大震災から 5 年が経過、現地では被災者のメンタルヘルスの問題、孤独死、不登校出現率の増加など目に見えない問題が悪化している。

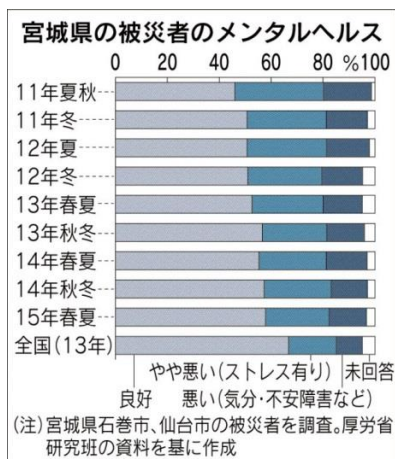


図7 東日本大震災被災者のメンタルヘルス

出典：日本経済新聞 2016/3/19

CITP が実際に現地を訪れ、被災地が現在どうなっているか、現地はどのように考えているか、どのような問題があるのかを共感・理解するステップを企画している。

4. まとめ

日本は、生産性向上と国際競争力の強化が課題となっている。課題解決のために、IT を価値創造の源泉とするトレンドが強まっている。CITP はプロフェッショナルコミュニティ活動を通じて、社会価値創造への取組みを開始した。

今後も JUAS での発表、アニュアルレポート、新規プロジェクトの実践を通じて社会価値創造に取り組んでいく。

赤坂 亮

(日本 IBM 株式会社
グローバル・ビジネス・サービス事業本部
シニアマネージング
コンサルタント)



【略歴】日本 IBM でヘルスケア・ライフサイエンス事業を中心に医療ビッグデータ分析による価値共創や、コグニティブサービスによる価値創出に取り組んでいる。医薬産業研究所・医療健康分野のビッグデータ活用研究会員、情報処理技術者 (ST、AU、PM、SM、SA、DB、SC)、PMP。

以上